

<訂正のお知らせとお詫び>

「YMアセット・オーストラリア好配当資産ファンド」の運用報告書におきまして、第1期から第5期に亘り、記載内容の一部に誤り（下線部が訂正箇所）がございました。

この度の件を深くお詫びいたしますとともに、下記の通り訂正いたします。

記

「設定以来の運用実績」および「当作成期中の基準価額と市況の推移」において、参考指数として記載している「S & P / A S X 200指数（配当込み、円換算ベース）」の騰落率等を訂正いたします。

①「設定以来の運用実績」（第1期（2017年12月20日）から第5期（2018年12月20日）まで）

決算期	基準価額			S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算ベース)		S&PオーストラリアREIT指数 (配当込み、円換算ベース)		投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率		
(設定日) 2017年9月15日	円 10,000	円 -	% -	10,000	% -	10,000	% -	% -	百万円 1,757
第1期末 (2017年12月20日)	10,194	60	2.5	正) 10,361 誤) 10,287	正) 3.6 誤) 2.9	10,642	6.4	99.1	5,104
第2期末 (2018年3月20日)	9,102	60	△10.1	正) 9,802 誤) 9,598	正) △5.4 誤) △6.7	9,443	△11.3	99.0	4,812
第3期末 (2018年6月20日)	9,563	60	5.7	正) 10,107 誤) 9,828	正) 3.1 誤) 2.4	10,066	6.6	98.8	4,762
第4期末 (2018年9月20日)	9,751	60	2.6	正) 10,290 誤) 9,858	正) 1.8 誤) 0.3	10,725	6.6	99.0	3,712
第5期末 (2018年12月20日)	9,517	60	△1.8	正) 9,376 誤) 8,921	正) △8.9 誤) △9.5	10,472	△2.4	99.0	3,574

②「当作成期中の基準価額と市況の推移」（第1期（2017年12月20日）から第5期（2018年12月20日）まで）

決算期	年 月 日	基準価額		S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算ベース)		S & PオーストラリアREIT指数 (配当込み、円換算ベース)		投資信託 受益証券 組入比率
		騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
第1期	(設定日) 2017年9月15日	円 10,000	% -	10,000	% -	10,000	% -	% -
	9月末	9,834	△1.7	正)9,922 誤)9,914	正)△0.8 誤)△0.9	9,833	△1.7	99.2
	10月末	9,924	△0.8	正)10,180 誤)10,171	正)1.8 誤)1.7	9,969	△0.3	99.1
	11月末	10,039	0.4	正)10,087 誤)10,016	正)0.9 誤)0.2	10,165	1.6	99.2
	(期末) 2017年12月20日	10,254	2.5	正)10,361 誤)10,287	正)3.6 誤)2.9	10,642	6.4	99.1
第2期	(期首) 2017年12月20日	10,194	-	正)10,361 誤)10,287	-	10,642	-	99.1
	12月末	10,219	0.2	正)10,644 誤)10,567	2.7	10,609	△0.3	99.0
	2018年1月末	9,804	△3.8	正)10,670 誤)10,573	正)3.0 誤)2.8	10,238	△3.8	99.1
	2月末	9,227	△9.5	正)10,176 誤)10,024	正)△1.8 誤)△2.6	9,641	△9.4	99.0
	(期末) 2018年3月20日	9,162	△10.1	正)9,802 誤)9,598	正)△5.4 誤)△6.7	9,443	△11.3	99.0

決算期	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算ベース)		S & P オーストラリアREIT指数 (配当込み、円換算ベース)		投資信託 受益証券 組入比率
			騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率	
第3期	(期 首) 2018年3月20日	9,102	-	<u>正)9,802</u> <u>誤)9,598</u>	-	9,443	-	99.0
	3月末	8,980	△ 1.3	<u>正)9,546</u> <u>誤)9,343</u>	<u>正)△2.6</u> <u>誤)△2.7</u>	9,273	△ 1.8	99.0
	4月末	9,101	△ 0.0	<u>正)9,898</u> <u>誤)9,686</u>	<u>正)1.0</u> <u>誤)0.9</u>	9,557	1.2	99.0
	5月末	9,308	2.3	<u>正)9,903</u> <u>誤)9,633</u>	<u>正)1.0</u> <u>誤)0.4</u>	9,909	4.9	98.9
	(期 末) 2018年6月20日	9,623	5.7	<u>正)10,107</u> <u>誤)9,828</u>	<u>正)3.1</u> <u>誤)2.4</u>	10,066	6.6	98.8
第4期	(期 首) 2018年6月20日	9,563	-	<u>正)10,107</u> <u>誤)9,828</u>	-	10,066	-	98.8
	6月末	9,459	△ 1.1	<u>正)10,155</u> <u>誤)9,874</u>	0.5	10,016	△ 0.5	99.0
	7月末	9,618	0.6	<u>正)10,529</u> <u>誤)10,217</u>	<u>正)4.2</u> <u>誤)4.0</u>	10,336	2.7	98.9
	8月末	9,778	2.2	<u>正)10,620</u> <u>誤)10,229</u>	<u>正)5.1</u> <u>誤)4.1</u>	10,615	5.5	99.0
	(期 末) 2018年9月20日	9,811	2.6	<u>正)10,290</u> <u>誤)9,858</u>	<u>正)1.8</u> <u>誤)0.3</u>	10,725	6.6	99.0
第5期	(期 首) 2018年9月20日	9,751	-	<u>正)10,290</u> <u>誤)9,858</u>	-	10,725	-	99.0
	9月末	9,690	△ 0.6	<u>正)10,453</u> <u>誤)10,013</u>	1.6	10,547	△ 1.7	99.0
	10月末	9,066	△ 7.0	<u>正)9,385</u> <u>誤)8,987</u>	△8.8	9,930	△ 7.4	99.0
	11月末	9,696	△ 0.6	<u>正)9,839</u> <u>誤)9,365</u>	<u>正)△4.4</u> <u>誤)△5.0</u>	10,674	△ 0.5	99.0
	(期 末) 2018年12月20日	9,577	△ 1.8	<u>正)9,376</u> <u>誤)8,921</u>	<u>正)△8.9</u> <u>誤)△9.5</u>	10,472	△ 2.4	99.0

※ 上記の訂正により、「ベンチマークとの差異について」(5頁)における「S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算ベース)」の騰落率(棒グラフ)の読み替えをお願いいたします。

以上

YMアセット・ オーストラリア 好配当資産ファンド

追加型投信／海外／資産複合

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合
信託期間	2017年9月15日から、2022年9月20日までです。
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ) オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) の受益証券 ロ) ダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用) の受益証券
運用方法	①主として、オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) の受益証券を通じて、オーストラリアのリアルアセット関連有価証券に投資することにより、信託財産の成長をめざします。 なお、リアルアセット関連有価証券とは、以下の有価証券をいいます。 イ) リート ロ) 上場インフラファンド ハ) リアルアセットを保有または運営する企業の株式 ※1 「リアルアセット」とは、使用料や賃料等のキャッシュフローを生み出すインフラ関連施設や不動産等の実物資産をさします。 ※2 ニュージーランドのリアルアセット関連有価証券にも投資することがあります。 ②オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) では、配当の成長性および継続性、利益成長性、収益基盤の安定性等に着目し投資を行ないます。 ③オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) では、原則として、為替リスクを回避するための為替ヘッジを行ないません。 ④この投資信託は、オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) とダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用) に投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) への投資割合を高位に維持することを基本とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) などとし、原則として、継続した分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

運用報告書 (全体版)

第2期 (決算日 2018年3月20日)

第3期 (決算日 2018年6月20日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「YMアセット・オーストラリア好配当資産ファンド 愛称：トリプル維新 (リアルオージー)」は、このたび、第3期の決算を行ないました。

ここに、第2期、第3期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。



Yamaguchi
Financial Group

ワイエムアセットマネジメント

山口県下関市竹崎町四丁目2番36号

お問い合わせ先 083-223-7124

(営業日の9:00~17:00)

ホームページ <http://www.ymam.co.jp/>

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			S&P/A S X 200指数 (配当込み、円換算ベース)		S&PオーストラリアREIT指数 (配当込み、円換算ベース)		投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率		
(設定日) 2017年9月15日	円 10,000	円 -	% -	(参考指数) 10,000	% -	(参考指数) 10,000	% -	% -	百万円 1,757
第1期末(2017年12月20日)	10,194	60	2.5	10,287	2.9	10,642	6.4	99.1	5,104
第2期末(2018年3月20日)	9,102	60	△10.1	9,598	△6.7	9,443	△11.3	99.0	4,812
第3期末(2018年6月20日)	9,563	60	5.7	9,828	2.4	10,066	6.6	98.8	4,762

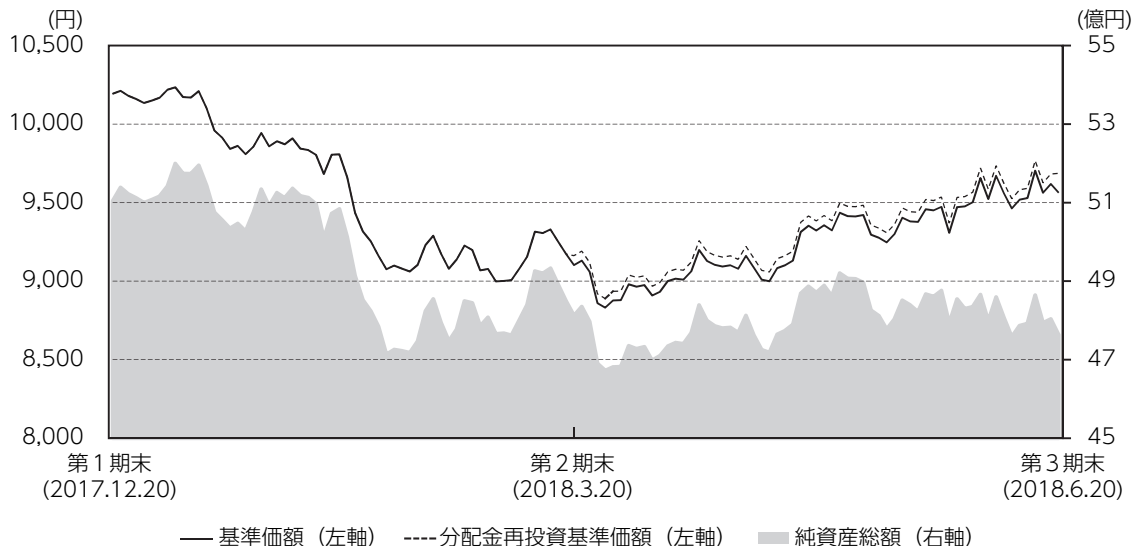
(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算ベース) は S & P / A S X 200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに、S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、円換算ベース) は S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとにワイエムアセットマネジメントが円換算し、当ファンド設定日を10,000として計算したものです。S & P / A S X 200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) および S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前々営業日の終値を採用しています。

運用経過

基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第2期首：10,194円

第3期末：9,563円 (既払分配金120円)

騰落率：△5.0% (分配金再投資ベース)

■基準価額の主な変動要因

オーストラリア・ドルが対円で下落したことが主なマイナス要因となり、基準価額は下落しました。オーストラリアの長期金利が米国金利を下回るなど、景気動向の違いに注目が集まり、オーストラリア・ドルは軟調に推移しました。また世界的なリスク回避の流れから円が選好されたことも、オーストラリア・ドルが対円で下落した要因となりました。株価はおおむね横ばいでした。長期金利の上昇を受けて下落する局面もありましたが、相対的に高い配当利回りや堅調な業績が再評価され、株価は値を戻しました。くわしくは、「投資環境について」をご参照ください。

YMアセット・オーストラリア好配当資産ファンド

決算期	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算ベース)		S&PオーストラリアREIT指数 (配当込み、円換算ベース)		投資信託 受益証券 組入比率
			騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率	
第2期	(期首)2017年12月20日	円	%					%
	12月末	10,194	-	10,287	-	10,642	-	99.1
	2018年1月末	10,219	0.2	10,567	2.7	10,609	△ 0.3	99.0
	2月末	9,804	△ 3.8	10,573	2.8	10,238	△ 3.8	99.1
	(期末)2018年3月20日	9,227	△ 9.5	10,024	△2.6	9,641	△ 9.4	99.0
第3期	(期首)2018年3月20日	9,162	△10.1	9,598	△6.7	9,443	△11.3	99.0
	3月末	9,102	-	9,598	-	9,443	-	99.0
	4月末	8,980	△ 1.3	9,343	△2.7	9,273	△ 1.8	99.0
	5月末	9,101	△ 0.0	9,686	0.9	9,557	1.2	99.0
	(期末)2018年6月20日	9,308	2.3	9,633	0.4	9,909	4.9	98.9
		9,623	5.7	9,828	2.4	10,066	6.6	98.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は設定日比。

投資環境について

○オーストラリア・リアルアセット（※）市況

第2期首から2018年2月半ばにかけて、米国長期金利上昇に連られる形で、オーストラリアの長期金利も上昇し、リアルアセット市況は下落しました。その後4月中旬にかけては、長期金利や株式市場の動向を受けて上下する局面がありましたが、おおむね横ばいでの推移となりました。4月下旬から第3期末にかけては、堅調な業績動向や割安な株価水準が再評価されるなどして上昇しました。

※リアルアセットは、リート、上場インフラファンド、株式を含みます。

○為替市況

第2期首から2018年1月にかけては、原油や鉄鉱石などのコモディティ価格が上昇したことや、堅調な世界経済を背景に投資家のリスク選好が強まったことなどからオーストラリア・ドルは対円で上昇しました。しかし、2月から3月にかけては、世界的なリスク回避の流れから円が選好されたことや、オーストラリアの長期金利が米国金利を下回ったこと、また、2017年10-12月のGDP（国内総生産）が予想を下回ったことなどから、オーストラリア・ドルは対円で下落しました。4月以降は、経済指標の発表などをを受けて上下しましたが、おおむね狭いレンジでの推移となりました。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、オーストラリア・リアル・アセットファンド（適格機関投資家専用）とダイワ・マネーポートフォリオ（FOFs用）（適格機関投資家専用）に投資するファンド・オブ・ファンズです。期を通して、オーストラリア・リアル・アセットファンド（適格機関投資家専用）の受益証券を高位に組み入れました。

○オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用）

オーストラリアの主要都市に優れた高速道路ネットワークを持ち、継続的な事業成長が期待できる高速道路運営会社TRANSURBAN GROUP（資本財・サービス）、シドニー都心に近く、良好なアクセスを持つシドニー空港を運営するSYDNEY AIRPORT（資本財・サービス）、低コストの発電所を保有し、国内電力料金上昇の恩恵を受ける発電大手AGL ENERGY LTD（公益事業）、一戸建て開発に強みを持ち、キャッシュフローの改善が期待されたSTOCKLAND（不動産）などを高位に組み入れました。

○ダイワ・マネーポートフォリオ（FOFs用）（適格機関投資家専用）

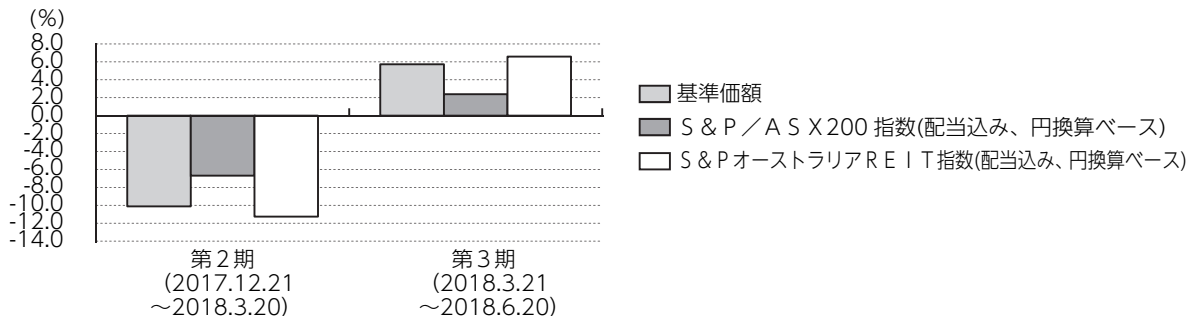
流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数（S & P / A S X 200指数（配当込み、円換算ベース）およびS & PオーストラリアREIT指数（配当込み、円換算ベース））との騰落率の対比です。

参考指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前々営業日の終値を採用しています。



分配金について

1万口当り分配金（税込み）は第2期は60円、第3期は60円といたしました。収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第2期	第3期
	2017年12月21日 ～2018年3月20日	2018年3月21日 ～2018年6月20日
当期分配金（税込み）	60円	60円
対基準価額比率	0.65%	0.62%
当期の収益	60円	60円
当期の収益以外	-	-
翌期繰越分配対象額	274	326

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税込み）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税込み）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「翌期繰越分配対象額」は、当期の分配金支払い後の「経費控除後の配当等収益」、「経費控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買損益」、「分配準備積立金」、「収益調整金」の合計であり、基準価額を上回る場合があります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第2期	第3期
(a) 経費控除後の配当等収益	71.70円	110.45円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00
(c) 収益調整金	36.37	41.14
(d) 分配準備積立金	226.89	234.72
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	334.96	386.31
(f) 分配金	60.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	274.96	326.31

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

○当ファンド

オーストラリア・リアル・アセットファンド（適格機関投資家専用）の受益証券の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

○オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用）

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

○ダイワ・マネーポートフォリオ（FOFs用）（適格機関投資家専用）

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行なう方針です。そのため、マイナス利回りの短期の国債やコール・ローン等にも投資することがあります。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第2期～第3期		項 目 の 概 要
	(2017年12月21日～2018年6月20日)		
	金 額	比 率	
信託報酬	44円	0.471%	信託報酬＝各期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）×各期の日数／年間の日数 期中の平均基準価額は9,417円です。
（投信会社）	(18)	(0.188)	ファンドの運用の対価
（販売会社）	(25)	(0.269)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(1)	(0.013)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝各期中の売買委託手数料／各期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝各期中の有価証券取引税／各期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	1	0.005	その他費用＝各期中のその他費用／各期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.005)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
合 計	45	0.476	

- (注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。
- (注3) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2017年12月21日から2018年6月20日まで)

決算期		第2期～第3期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国		千口	千円	千口	千円
オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用)		461,992.938	452,000	470,572.581	452,000
ダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用)		-	-	-	-

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
国内投資信託受益証券

銘柄	第3期末		
	口数	評価額	比率
	千口	千円	%
オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用)	4,799,242.807	4,705,657	
ダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用)	100	99	
合計	4,799,342.807	4,705,757	<98.8%>
	金額	2銘柄	
	銘柄数 <比率>		

(注1) 合計欄の<>内は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年6月20日現在

項目	第3期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	4,705,757	97.3
コール・ローン等、その他	129,749	2.7
投資信託財産総額	4,835,507	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年3月20日)、(2018年6月20日)現在

項目	第2期末	第3期末
(A) 資産	4,855,550,632円	4,835,507,211円
コール・ローン等	59,622,820	63,749,949
投資信託受益証券(評価額)	4,765,927,812	4,705,757,262
未収入金	30,000,000	66,000,000
(B) 負債	43,443,545	72,686,086
未払収益分配金	31,722,274	29,883,294
未払解約金	-	31,222,044
未払信託報酬	11,588,877	11,449,937
その他未払費用	132,394	130,811
(C) 純資産総額(A-B)	4,812,107,087	4,762,821,125
元本	5,287,045,829	4,980,549,108
次期繰越損益金	△ 474,938,742	△ 217,727,983
(D) 受益権総口数	5,287,045,829口	4,980,549,108口
1万口当り基準価額(C/D)	9,102円	9,563円

(注) 元本状況
期首元本額 5,007,244,217円 5,287,045,829円
追加設定元本額 417,671,930円 84,753,776円
一部解約元本額 137,870,318円 391,250,497円

■損益の状況

第2期 自2017年12月21日 至2018年3月20日
第3期 自2018年3月21日 至2018年6月20日

項目	第2期	第3期
(A) 配当等収益	49,631,060円	57,473,893円
受取配当金	49,639,995	57,482,553
受取利息	78	60
支払利息	△ 9,013	△ 8,720
(B) 有価証券売買損益	△ 564,088,951	212,257,995
売買益	7,305,185	220,227,518
売買損	△ 571,394,136	△ 7,969,523
(C) 信託報酬等	△ 11,721,271	△ 11,580,748
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 526,179,162	258,151,140
(E) 前期繰越損益金	119,957,417	△ 405,861,607
(F) 追加信託差損益金 (配当等相当額)	△ 36,994,723	△ 40,134,222
(売買損益相当額)	(19,228,085)	(20,491,576)
(G) 合計(D+E+F)	△ 443,216,468	△ 187,844,689
(H) 収益分配金	△ 31,722,274	△ 29,883,294
次期繰越損益金(G+H)	△ 474,938,742	△ 217,727,983
追加信託差損益金 (配当等相当額)	△ 36,994,723	△ 40,134,222
(売買損益相当額)	(19,228,085)	(20,491,576)
分配準備積立金	126,144,932	142,026,694
繰越損益金	△ 564,088,951	△ 319,620,455

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 2 期	第 3 期
(a) 経費控除後の配当等収益	37,909,789円	55,006,036円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円	0円
(c) 収益調整金	19,228,085円	20,491,576円
(d) 分配準備積立金	119,957,417円	116,903,952円
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	177,095,291円	192,401,564円
(f) 1万口当り当期分配対象額	334.96円	386.31円
(g) 分配金	31,722,274円	29,883,294円
(h) 1万口当り分配金	60円	60円

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
	第 2 期	第 3 期
一万口当り分配金（税引前）	60円	60円

<課税上の取り扱いについて>

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・受益者は普通分配金に対し課税されます。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/資産複合	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドの受益証券
	オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	イ、オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場または店頭登録の投資信託証券 ロ、オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）または店頭登録（登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。） ハ、オーストラリアおよびニュージーランドの企業のDR
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、オーストラリアのリアルアセット関連有価証券に投資することにより、信託財産の成長をめざします。なお、リアルアセット関連有価証券とは、以下の有価証券をいいます。</p> <p>イ、リート ロ、上場インフラファンド ハ、リアルアセットを保有または運営する企業の株式 ※「リアルアセット」とは、使用料や賃料等のキャッシュフローを生み出すインフラ関連施設や不動産等の実物資産をさします。 ※ニュージーランドのリアルアセット関連有価証券にも投資することがあります。</p> <p>②ポートフォリオの構築にあたっては、配当の成長性および継続性、利益成長性、収益基盤の安定性等に着目します。</p> <p>③運用の効率化を図るため、株価指数先物取引等を利用することがあります。このため、リアルアセット関連有価証券の組入総額と株価指数先物取引等の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。</p> <p>④リアルアセット関連有価証券の組入比率の合計は、通常の状態で高位に維持することを基本とします。</p> <p>⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、配当等収益等を全額分配し、売買益等は基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用)

運用報告書（全体版）

第2期（決算日 2018年2月15日）
第3期（決算日 2018年5月15日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用）」は、このたび、第3期の決算を行ないました。

ここに、第2期～第3期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			S&P/A S X200指数 (配当込み、円換算)		S&PオーストラリアREIT 指数 (配当込み、円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期 騰落率	(参考指数)	期 騰落率	(参考指数)	期 騰落率				
1 期末 (2017年11月15日)	円 10,307	円 110	% 4.2	10,382	% 3.8	10,479	% 4.8	% 17.7	% -	% 70.0	百万円 4,097
2 期末 (2018年 2 月15日)	9,275	100	△9.0	10,041	△3.3	9,735	△7.1	17.8	-	75.7	4,616
3 期末 (2018年 5 月15日)	9,593	120	4.7	10,421	3.8	10,212	4.9	18.0	-	78.8	4,801

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算) は、S & P / A S X 200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P / A S X 200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、円換算) は、S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

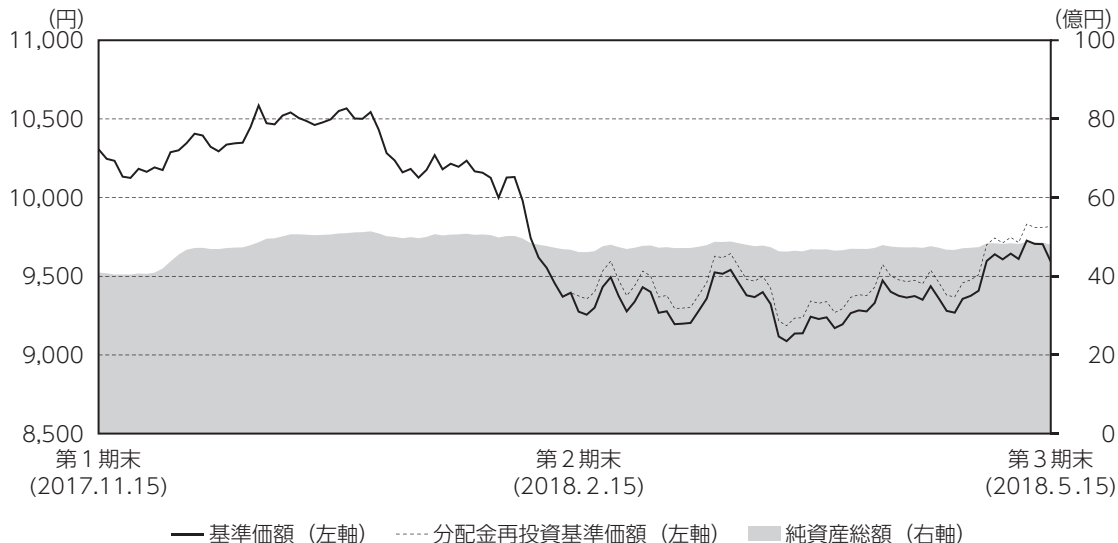
(注5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 株式先物比率は買建比率-売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

■ 基準価額・騰落率

第2期首：10,307円

第3期末：9,593円 (既払分配金220円)

騰落率：△4.7% (分配金再投資ベース)

■ 基準価額の主な変動要因

オーストラリア・ドルが対円で下落したことが主なマイナス要因となり、基準価額は下落しました。オーストラリアの長期金利が米国金利を下回るなど、景気動向の違いに注目が集まり、オーストラリア・ドルは軟調に推移しました。また世界的なリスク回避の流れから円が選好されたことも、オーストラリア・ドルが対円で下落した要因となりました。株価はおおむね横ばいでした。長期金利の上昇を受けて下落する局面もありましたが、相対的に高い配当利回りや堅調な業績が再評価され、株価は値を戻しました。

オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算) (参考指数)		S&PオーストラリアREIT指数 (配当込み、円換算) (参考指数)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	投 資 信 託 券 率
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率
第 2 期	(期首)2017年11月15日	円 10,307	% -	10,382	% -	10,479	% -	% 17.7	% -	% 70.0
	11月末	10,301	△0.1	10,307	△0.7	10,486	0.1	17.2	-	67.7
	12月末	10,567	2.5	10,868	4.7	11,052	5.5	18.6	-	74.1
	2018年1月末	10,000	△3.0	10,705	3.1	10,396	△0.8	17.9	-	73.2
	(期末)2018年2月15日	9,375	△9.0	10,041	△3.3	9,735	△7.1	17.8	-	75.7
第 3 期	(期首)2018年2月15日	9,275	-	10,041	-	9,735	-	17.8	-	75.7
	2月末	9,401	1.4	10,326	2.8	9,907	1.8	17.1	-	74.4
	3月末	9,229	△0.5	9,640	△4.0	9,539	△2.0	17.3	-	75.1
	4月末	9,408	1.4	10,011	△0.3	9,830	1.0	18.1	-	77.2
	(期末)2018年5月15日	9,713	4.7	10,421	3.8	10,212	4.9	18.0	-	78.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2017.11.16~2018.5.15)

■ オーストラリア・リアルアセット（※）市況

第2期首から2017年12月半ばにかけて、長期金利の安定を背景に堅調な業績が再評価され、リアルアセット市況は上昇傾向となりました。また12月半ばに、オーストラリアの大手ショッピングモール運営リートが欧州の同業他社による買収案を発表し、オーストラリアのリートが全般的に上昇しました。12月半ばから2018年2月にかけては、米国長期金利上昇に連られる形でオーストラリアの長期金利も上昇し、リアルアセット市況は下落しました。4月後半から第3期末にかけては、堅調な業績動向や割安な株価水準などを背景に上昇しました。

※リアルアセットは、リート、上場インフラファンド、株式を含みます。

■ 為替相場

第2期首から2018年1月にかけては、原油や鉄鉱石などのコモディティ価格が上昇したことや、堅調な世界経済を背景に投資家のリスク選好が強まったことなどから、オーストラリア・ドルは対円で上昇しました。2月から3月にかけては、世界的なリスク回避の流れから円が選好されたことや、オーストラリアの長期金利が米国金利を下回ったこと、また2017年10-12月のGDP（国内総生産）が予想を下回ったことなどから、オーストラリア・ドルは対円で下落しました。4月以降は、経済指標の発表などを受けて上下しましたが、おおむね狭いレンジでの取引となりました。

前作成期間末における「今後の運用方針」**■ 当ファンド**

「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行ないます。

■ オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

ポートフォリオについて

(2017.11.16～2018.5.15)

■当ファンド

「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行ないました。

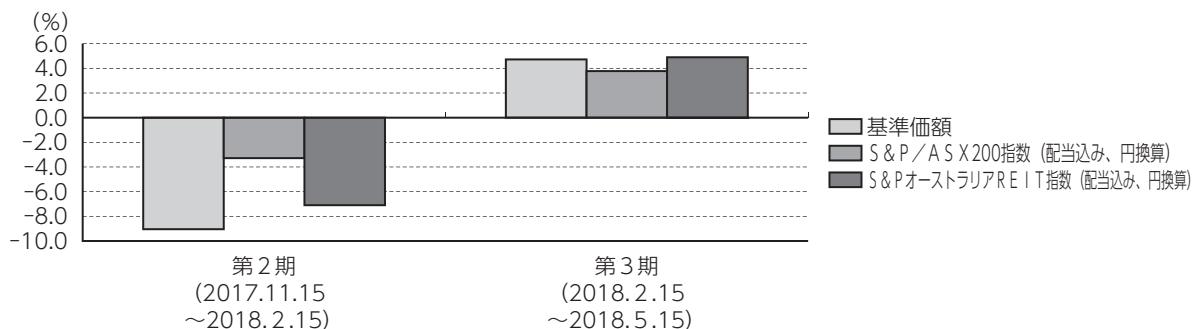
■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

オーストラリアの主要都市に優れた高速道路ネットワークを持ち、継続的な事業成長が期待できる高速道路運営会社TRANSURBAN GROUP（資本財・サービス）、シドニー都心に近く、良好なアクセスを持つシドニー空港を運営するSYDNEY AIRPORT（資本財・サービス）、低コストの発電所を保有し、国内電力料金上昇の恩恵を受ける発電大手AGL ENERGY LTD（公益事業）、一戸建て開発に強みを持ち、キャッシュフローの改善が期待されたSTOCKLAND（不動産）などを高位に組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

1万口当りの分配金（税込み）は第2期は100円、第3期は120円といたしました。
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第2期		第3期	
	2017年11月16日 ～2018年2月15日		2018年2月16日 ～2018年5月15日	
当期分配金（税込み）（円）	100		120	
対基準価額比率（％）	1.07		1.24	
当期の収益（円）	75		105	
当期の収益以外（円）	25		15	
翌期繰越分配対象額（円）	52		251	

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第2期	第3期
(a) 経費控除後の配当等収益	87.92円	108.81円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00
(c) 収益調整金	28.23	214.88
(d) 分配準備積立金	36.79	48.10
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	152.95	371.80
(f) 分配金	100.00	120.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	52.95	251.80

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行ないます。

■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

1万口当りの費用の明細

項 目	第2期～第3期 (2017.11.16～2018.5.15)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	27円	0.276%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,793円です。
(投 信 会 社)	(25)	(0.257)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算等の対価
(販 売 会 社)	(1)	(0.005)	販売会社分は、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	7	0.071	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(1)	(0.014)	
(投資信託証券)	(6)	(0.057)	
有 価 証 券 取 引 税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	8	0.080	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.020)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(6)	(0.057)	配当金の再投資に係る税金の支払い、信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	42	0.427	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定、解約状況

(2017年11月16日から2018年5月15日まで)

決算期	第2期～第3期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	1,134,220	1,300,600	210,272	225,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2017年11月16日から2018年5月15日まで)

項目	第2期～第3期
	オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	281,771千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	870,904千円
(c) 売買高比率(a)÷(b)	0.32

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間（第2期～第3期）中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種類	第1期末	第3期末	
	□数	□数	評価額
	千口	千口	千円
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	3,408,602	4,332,550	4,778,369

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年5月15日現在

項目	第3期末	
	評価額	比率
	千円	%
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	4,778,369	98.1
コール・ローン等、その他	92,988	1.9
投資信託財産総額	4,871,357	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月15日における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル＝82.67円、1ニュージーランド・ドル＝75.92円です。

(注3) オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドにおいて、第3期末における外貨建純資産（4,869,257千円）の投資信託財産総額（4,887,029千円）に対する比率は、99.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年2月15日)、(2018年5月15日)現在

項目	第2期末	第3期末
(A) 資産	4,700,601,493円	4,871,357,663円
コール・ローン等	107,806,142	90,188,158
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド(評価額)	4,565,295,351	4,778,369,505
未収入金	27,500,000	2,800,000
(B) 負債	84,575,221	69,630,970
未払収益分配金	49,769,184	60,067,846
未払解約金	27,999,999	3,000,000
未払信託報酬	6,740,649	6,433,864
その他未払費用	65,389	129,260
(C) 純資産総額(A-B)	4,616,026,272	4,801,726,693
元本	4,976,918,499	5,005,653,881
次期繰越損益金	△ 360,892,227	△ 203,927,188
(D) 受益権総口数	4,976,918,499口	5,005,653,881口
1万口当り基準価額(C/D)	9,275円	9,593円

*第1期末における元本額は3,975,190,655円、当作成期間（第2期～第3期）中における追加設定元本額は1,253,287,940円、同解約元本額は222,824,714円です。

*第3期末の計算口数当りの純資産額は9,593円です。

*第3期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は203,927,188円です。

■損益の状況

第2期 自2017年11月16日 至2018年2月15日
 第3期 自2018年2月16日 至2018年5月15日

項 目	第 2 期	第 3 期
(A) 配当等収益	△ 9,360円	△ 6,330円
受取利息	4	104
その他収益金	6,582	-
支払利息	△ 15,946	△ 6,434
(B) 有価証券売買損益	△456,995,437	224,878,257
売買益	3,700,711	226,974,969
売買損	△460,696,148	△ 2,096,712
(C) 信託報酬等	△ 6,806,038	△ 6,499,461
(D) 当期損益金(A + B + C)	△463,810,835	218,372,466
(E) 前期繰越損益金	18,312,343	△469,796,296
(F) 追加信託差損益金	134,375,449	107,564,488
(配当等相当額)	(14,051,239)	(3,161,293)
(売買損益相当額)	(120,324,210)	(104,403,195)
(G) 合計(D + E + F)	△311,123,043	△143,859,342
(H) 収益分配金	△ 49,769,184	△ 60,067,846
次期繰越損益金(G + H)	△360,892,227	△203,927,188
追加信託差損益金	121,933,153	105,061,662
(配当等相当額)	(1,608,943)	(658,467)
(売買損益相当額)	(120,324,210)	(104,403,195)
分配準備積立金	24,745,791	20,981,718
繰越損益金	△507,571,171	△329,970,568

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 2 期	第 3 期
(a) 経費控除後の配当等収益	43,760,336円	54,468,712円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	14,051,239	107,564,488
(d) 分配準備積立金	18,312,343	24,078,026
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	76,123,918	186,111,226
(f) 分配金	49,769,184	60,067,846
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	26,354,734	126,043,380
(h) 受益権総口数	4,976,918,499口	5,005,653,881口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
	第 2 期	第 3 期
1万円当り分配金（税込み）	100円	120円

<補足情報>

当ファンド（オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用））が投資対象としている「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の決算日（2018年2月5日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第3期の決算日（2018年5月15日）現在におけるオーストラリア・リアルアセット・マザーファンドの組入資産の内容等を10～11ページに併せて掲載いたしました。

■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドの主要な売買銘柄

(1) 株 式

(2017年11月16日から2018年5月15日まで)

買				売			
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
AGL ENERGY LTD (オーストラリア)	55	119,472	2,172	AGL ENERGY LTD (オーストラリア)	15	27,155	1,810
MACQUARIE ATLAS ROADS GROUP (オーストラリア)	160	84,666	529				
GENESIS ENERGY LTD (ニュージーランド)	150	26,229	174				
CONTACT ENERGY LTD (ニュージーランド)	60	24,248	404				

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2017年11月16日から2018年5月15日まで)

買				売			
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
SPARK INFRASTRUCTURE GROUP (オーストラリア)	590	132,105	223				
AVENTUS RETAIL PROPERTY FUND (オーストラリア)	525,687	106,543	202				
SCENTRE GROUP (オーストラリア)	300	105,139	350				
TRANSURBAN GROUP (オーストラリア)	87	89,762	1,031				
SYDNEY AIRPORT (オーストラリア)	140	86,883	620				
STOCKLAND (オーストラリア)	180	74,460	413				
MIRVAC GROUP (オーストラリア)	350	72,919	208				
GOODMAN GROUP (オーストラリア)	100	71,331	713				
WESTFIELD CORP (オーストラリア)	88	69,527	790				
APA GROUP (オーストラリア)	70	54,955	785				

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2018年5月15日現在におけるオーストラリア・リアルアセット・マザーファンド（4,428,588千口）の内容です。

(1) 外国株式

銘柄	2018年5月15日現在			業種等
	株数	評価額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)	百株	千円	千円	
AUSNET SERVICES	6,770	1,161	95,984	公益事業
AGL ENERGY LTD	1,805	3,943	326,044	公益事業
MACQUARIE ATLAS ROADS GROUP	2,875.32	1,785	147,613	資本財・サービス
オーストラリア・ドル 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	11,450.32 6,890	569,642 <11.7%>	
(ニュージーランド)	百株	千円	千円	
MERIDIAN ENERGY LTD	3,630	1,081	82,125	公益事業
MERCURY NZ LTD	590	186	14,132	公益事業
GENESIS ENERGY LTD	4,064.03	971	73,741	公益事業
TRUSTPOWER LTD	116	68	5,195	公益事業
TILT RENEWABLES LTD	16	3	242	公益事業
CONTACT ENERGY LTD	3,280	1,826	138,702	公益事業
ニュージーランド・ドル 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	11,696.03 6銘柄	314,140 <6.4%>	
ファンド合計	株数、金額 銘柄数<比率>	23,146.35 9銘柄	883,782 <18.1%>	

(注1) 邦貨換算金額は、2018年5月15日現在の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資信託証券

銘柄	2018年5月15日現在			
	口数	評価額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)	千口	千円	千円	
FOLKESTONE EDUCATION TRUST	221.339	608	50,319	
CROMWELL PROPERTY GROUP	124	137	11,327	
CENTURIA INDUSTRIAL REIT	399.999	1,019	84,323	
AVENTUS RETAIL PROPERTY FUND	711.125	1,557	128,747	
VIVA ENERGY REIT	30	60	5,034	
PROPERTYLINK GROUP	618.431	640	52,915	
CENTURIA METROPOLITAN REIT	411.314	962	79,567	
TRANSURBAN GROUP	372.405	4,439	366,977	
SYDNEY AIRPORT	547	3,932	325,135	
APA GROUP	450.847	3,805	314,571	
SPARK INFRASTRUCTURE GROUP	1,414	3,294	272,366	
GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR	492.876	1,700	140,573	
NATIONAL STORAGE REIT	1,454.255	2,290	189,351	
SCENTRE GROUP	726	2,998	247,876	
ARENA REIT	613.168	1,361	112,533	
HOTEL PROPERTY INVESTMENTS	162.544	512	42,328	
BWP TRUST	57	182	15,079	
DEXUS	100	967	79,941	
GPT GROUP	284.7	1,400	115,797	
INVESTA OFFICE FUND	50	221	18,311	
CHARTER HALL RETAIL REIT	27	113	9,352	
MIRVAC GROUP	764	1,734	143,372	
STOCKLAND	911.055	3,871	320,096	
WESTFIELD CORP	290	2,624	216,967	
ABACUS PROPERTY GROUP	90	340	28,124	
GOODMAN GROUP	363.1	3,260	269,556	
VICINITY CENTRES	523	1,349	111,549	
CHARTER HALL GROUP	206	1,289	106,607	
オーストラリア・ドル 通貨計	口数、金額 銘柄数<比率>	12,415.158 28銘柄	46,676 <79.0%>	3,858,707
(ニュージーランド)	千口	千円	千円	
KIWI PROPERTY GROUP LTD	58.972	80	6,111	
GOODMAN PROPERTY TRUST	21	28	2,168	
ニュージーランド・ドル 通貨計	口数、金額 銘柄数<比率>	79.972 2銘柄	109 <0.2%>	8,279
合計	口数、金額 銘柄数<比率>	12,495.13 30銘柄	- <79.2%>	3,866,987

(注1) 邦貨換算金額は、2018年5月15日現在の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

運用報告書 第3期 (決算日 2018年2月5日)

(計算期間 2017年8月4日～2018年2月5日)

オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドの第3期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ. オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場または店頭登録の投資信託証券 ロ. オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）または店頭登録（登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。） ハ. オーストラリアおよびニュージーランドの企業のDR
運用方法	①主として、オーストラリアのリアルアセット関連有価証券に投資することにより、信託財産の成長をめざします。なお、リアルアセット関連有価証券とは、以下の有価証券をいいます。 イ. リート ロ. 上場インフラファンド ハ. リアルアセットを保有または運営する企業の株式 ※「リアルアセット」とは、使用料や賃料等のキャッシュフローを生み出すインフラ関連施設や不動産等の実物資産をさします。 ※ニュージーランドのリアルアセット関連有価証券にも投資することがあります。 ②ポートフォリオの構築にあたっては、配当の成長性および継続性、利益成長性、収益基盤の安定性等に着目します。 ③運用の効率化を図るため、株価指数先物取引等を利用することがあります。このため、リアルアセット関連有価証券の組入総額と株価指数先物取引等の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。 ④リアルアセット関連有価証券の組入比率の合計は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。 ⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	無制限

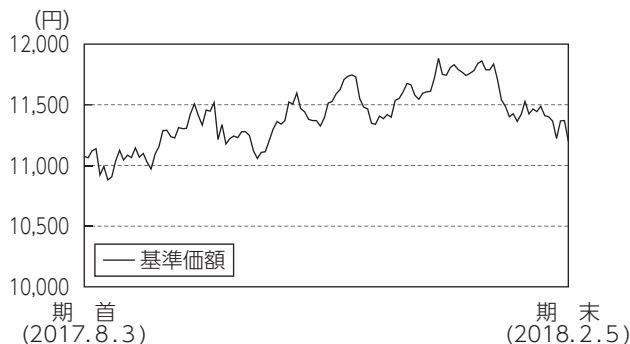
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算)		S & PオーストラリアREIT 指数 (配当込み、円換算)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期首)2017年 8 月 3 日	11,075	-	12,503	-	10,452	-	14.2	-	73.6
8 月 末	11,155	0.7	12,376	△1.0	10,423	△ 0.3	15.8	-	81.9
9 月 末	11,229	1.4	12,593	0.7	10,570	1.1	15.2	-	69.0
10 月 末	11,325	2.3	12,921	3.3	10,631	1.7	18.0	-	72.8
11 月 末	11,551	4.3	12,886	3.1	10,961	4.9	18.0	-	70.7
12 月 末	11,861	7.1	13,587	8.7	11,552	10.5	18.8	-	75.0
2018年 1 月 末	11,222	1.3	13,384	7.1	10,866	4.0	18.2	-	74.3
(期末)2018年 2 月 5 日	11,199	1.1	13,487	7.9	10,884	4.1	18.1	-	74.5

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算) は、S & P / A S X 200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P / A S X 200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) S & P オーストラリアREIT指数 (配当込み、円換算) は、S & P オーストラリアREIT指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P オーストラリアREIT指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注5) 株式先物比率は買建比率-売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：11,075円 期末：11,199円 騰落率：1.1%

【基準価額の主な変動要因】

資金上昇率の伸び悩みや住宅価格上昇の頭打ちなどを背景にオーストラリアの長期金利の上昇は限定的となり、相対的に高い配当利回りや堅調な業績が再評価され、株価が上昇したことがプラスに働きました。一方で、投資家のリスク回避姿勢の高まりなどを背景に豪ドルが対円で下落したことがマイナスに働きました。

◆投資環境について

○オーストラリア・リアルアセット (※) 市況

期首から2017年10月上旬にかけて、FRB (米国連邦準備制度理事会) がFOMC (米国連邦公開市場委員会) において保有資産の縮小を決めたことなどをを受け、長期金利が上昇傾向となり、リアルアセット市況は上値の重い展開となりました。10月半ばから12月にかけては、7-9月期の業績がおおむね堅調だったことや、想定よりも緩やかな伸びにとどまったオーストラリアの7-9月のCPI (消費者物価指数) などを背景に長期金利が下落したことなどをを受け、リアルアセット市況は上昇しました。また12月半ばには、オーストラリアの大手ショッピングモール運営リートが欧州の同業他社による買収案を発表し、オーストラリアのリートが全般的に上昇しました。2018年1月から期末にかけて、米国長期金利上昇に連れる形でオーストラリアの長期金利も上昇し、リアルアセット市況は軟調に推移しました。

※リアルアセットはリート、上場インフラファンド、株式を含みます。

○為替相場

期首から2017年9月半ばにかけて、堅調な世界経済への期待感や、北朝鮮情勢への警戒感が弱まったことにより、投資家のリスク回避姿勢が後退したことなどから、豪ドルは対円で上昇しました。9月後半から11月半ばにかけては、鉄鉱石価格の下落や、予想よりも低い伸びだったCPI、国会議員の二重国籍をめぐる政治の混乱などを背景に、豪ドルは対円で下落しました。12月から2018年1月にかけては、鉄鉱石価格の上昇や好調な世界経済などを背景に投資家のリスク選好が強まり、円安豪ドル高が進みました。2月初旬には、世界的な株式市場の下落など投資家のリスク回避姿勢が強まり、豪ドルは対円で下落しました。

◆前期における「今後の運用方針」

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また、長期的な配当成長の源泉となる高い開発・運営能力や、強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

◆ポートフォリオについて

低コストの発電所を保有し、国内電力料金上昇の恩恵を受ける発電大手AGL ENERGY LTD（公益事業）、オーストラリアの主要都市に優れた高速道路ネットワークを持ち、継続的な事業成長が期待できる高速道路運営会社TRANSURBAN GROUP（資本財・サービス）、ショッピングモールや物流施設を保有し、住宅開発も行なう総合リートSTOCKLAND（不動産）、シドニー都心に近く、良好なアクセスを持つシドニー空港を運営するSYDNEY AIRPORT（資本財・サービス）、オーストラリアのガス産出地と主要都市を結ぶガスパイプラインを運営するAPA GROUP（公益事業）などを高位に組み入れました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	35円
(株式)	(7)
(投資信託証券)	(28)
有価証券取引税	—
その他費用	4
(保管費用)	(2)
(その他)	(2)
合計	39

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1) 株 式

(2017年8月4日から2018年2月5日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	オーストラリア	百株	千オーストラリア・ドル	百株	千オーストラリア・ドル
		11,550 (3.32)	7,417 (1)	—	—
国	ニュージーランド	百株	千ニュージーランド・ドル	百株	千ニュージーランド・ドル
		9,080 (—)	3,255 (—)	—	—

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2017年8月4日から2018年2月5日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外	オーストラリア	千口	千オーストラリア・ドル	千口	千オーストラリア・ドル
		11,185.63 (89.24)	42,252 (433)	0.9 (—)	10 (—)
国	ニュージーランド	千口	千ニュージーランド・ドル	千口	千ニュージーランド・ドル
		50 (—)	67 (—)	— (—)	— (—)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

■主要な売買銘柄

(1) 株式

(2017年8月4日から2018年2月5日まで)

当				期			
買		付		売		付	
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
AGL ENERGY LTD (オーストラリア)	193	402,551	2,085				
MACQUARIE ATLAS ROADS GROUP (オーストラリア)	285	144,924	508				
CONTACT ENERGY LTD (ニュージーランド)	268	116,878	436				
AUSNET SERVICES (オーストラリア)	677	100,901	149				
MERIDIAN ENERGY LTD (ニュージーランド)	340	78,765	231				
GENESIS ENERGY LTD (ニュージーランド)	240	46,245	192				
MERCURY NZ LTD (ニュージーランド)	50	13,592	271				
TRUSTPOWER LTD (ニュージーランド)	10	4,385	438				

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2017年8月4日から2018年2月5日まで)

当				期			
買		付		売		付	
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
STOCKLAND (オーストラリア)	896.3	346,945	387	TRANSURBAN GROUP (オーストラリア)	0.9	933	1,037
SYDNEY AIRPORT (オーストラリア)	532	334,380	628				
TRANSURBAN GROUP (オーストラリア)	314.5	332,530	1,057				
APA GROUP (オーストラリア)	419	310,817	741				
SPARK INFRASTRUCTURE GROUP (オーストラリア)	1,390	307,604	221				
GOODMAN GROUP (オーストラリア)	317.1	231,337	729				
WESTFIELD CORP (オーストラリア)	285	202,074	709				
SCENTRE GROUP (オーストラリア)	536	192,403	358				
NATIONAL STORAGE REIT (オーストラリア)	1,400	185,227	132				
MIRVAC GROUP (オーストラリア)	740	151,567	204				

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国株式

銘柄	期首		期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)	百株	百株	千円	千円	
AUSNET SERVICES	-	6,770	1,154	100,468	公益事業
AGL ENERGY LTD	25	1,955	4,549	395,969	公益事業
MACQUARIE ATLAS ROADS GROUP	22	2,875.32	1,607	139,899	資本財・サービス
オーストラリア・ドル 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	47 2銘柄	11,600.32 3銘柄	7,310 636,338	<12.7%>
(ニュージーランド)	百株	百株	千円	千円	
MERIDIAN ENERGY LTD	230	3,630	1,038	83,303	公益事業
MERCURY NZ LTD	90	590	201	16,143	公益事業
GENESIS ENERGY LTD	60	2,460	611	49,051	公益事業
TRUSTPOWER LTD	16	116	61	4,961	公益事業
TILT RENEWABLES LTD	16	16	3	252	公益事業
CONTACT ENERGY LTD	-	2,680	1,460	117,198	公益事業
ニュージーランド・ドル 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	412 5銘柄	9,492 6銘柄	3,376 270,911	<5.4%>
ファンド合計	株数、金額 銘柄数<比率>	459 7銘柄	21,092.32 9銘柄	- 907,249	<18.1%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資信託証券

銘柄	期首		期末	
	□数	□数	評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(オーストラリア)	千口	千口	千円	千円
FOLKESTONE EDUCATION TRUST	-	83,422	227	19,822
CROMWELL PROPERTY GROUP	24	124	120	10,469
CENTURIA INDUSTRIAL REIT	15	392,265	968	84,332
AVENTUS RETAIL PROPERTY FUND	18,558	697,478	1,499	130,523
VIVA ENERGY REIT	-	30	61	5,326
PROPERTYLINK GROUP	-	318,431	304	26,469
CENTURIA METROPOLITAN REIT	-	411,314	962	83,773
TRANSURBAN GROUP	9.4	347,405	4,144	360,740
SYDNEY AIRPORT	15	547	3,719	323,753
APA GROUP	6.8	425.8	3,529	307,240
SPARK INFRASTRUCTURE GROUP	24	1,414	3,280	285,532
GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR	17,563	478,548	1,540	134,122
NATIONAL STORAGE REIT	8,261	1,408,512	2,084	181,443
SCENTRE GROUP	20	556	2,285	198,900
ARENA REIT	-	596,494	1,371	119,413
HOTEL PROPERTY INVESTMENTS	8.5	162,544	494	43,009
BWP TRUST	7	57	168	14,635
DEXUS	4	100	948	82,513
GPT GROUP	4.7	284.7	1,426	124,149
INVESTA OFFICE FUND	-	50	223	19,453
CHARTER HALL RETAIL REIT	-	27	102	8,930

銘柄	期首		期末		
	□数	□数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
MIRVAC GROUP	千口	千口	千円	千円	
STOCKLAND	24	764	1,627	141,641	
WESTFIELD CORP	14,316	911,055	3,799	330,673	
GOODMAN GROUP	5	290	2,662	231,717	
VICINITY CENTRES	6	323.1	2,581	224,699	
CHARTER HALL GROUP	23	523	1,401	121,998	
オーストラリア・ドル 通貨計	口数、金額 銘柄数<比率>	255,098 19銘柄	11,529,068 27銘柄	42,759 3,721,794	<74.3%>
(ニュージーランド)	千口	千口	千円	千円	
KIWI PROPERTY GROUP LTD	8,972	58,972	80	6,482	
GOODMAN PROPERTY TRUST	21	21	28	2,283	
ニュージーランド・ドル 通貨計	口数、金額 銘柄数<比率>	29,972 2銘柄	79,972 2銘柄	109 8,765	<0.2%>
合計	口数、金額 銘柄数<比率>	285,07 21銘柄	11,609,04 29銘柄	- 3,730,560	<74.5%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年2月5日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 907,249	% 18.1
投資信託証券	3,730,560	74.5
コール・ローン等、その他	371,218	7.4
投資信託財産総額	5,009,028	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月5日における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル=87.04円、1ニュージーランド・ドル=80.24円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(4,814,407千円)の投資信託財産総額(5,009,028千円)に対する比率は、96.1%です。

オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年2月5日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	5,009,028,884円
コール・ローン等	333,193,943
株式(評価額)	907,249,565
投資信託証券(評価額)	3,730,560,833
未収配当金	38,024,543
(B) 負債	283,402
その他未払費用	283,402
(C) 純資産総額(A - B)	5,008,745,482
元本	4,472,333,424
次期繰越損益金	536,412,058
(D) 受益権総口数	4,472,333,424口
1万口当り基準価額(C/D)	11,199円

*期首における元本額は106,437,992円、当期中における追加設定元本額は4,369,514,412円、同解約元本額は3,618,980円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、オーストラリア・リアルアセット・ファンド(適格機関投資家専用)4,375,825,290円、オーストラリア・リアルアセット・ファンド96,508,134円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は11,199円です。

■損益の状況

当期 自2017年8月4日 至2018年2月5日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	50,181,103円
受取配当金	50,112,532
受取利息	128,740
支払利息	△ 60,169
(B) 有価証券売買損益	△142,018,845
売買益	44,241,451
売買損	△186,260,296
(C) その他費用	△ 1,296,996
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 93,134,738
(E) 前期繰越損益金	11,442,228
(F) 解約差損益金	△ 481,020
(G) 追加信託差損益金	618,585,588
(H) 合計(D + E + F + G)	536,412,058
次期繰越損益金(H)	536,412,058

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

ダイワ・マネー ポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	イ、ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）の受益証券 ロ、円建ての債券
	ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	円建ての債券
ベビーファンドの運用方法	①マザーファンドの受益証券および円建ての債券を中心に投資することにより、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
マザーファンドの運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、配当等収益等を中心に分配します。ただし、配当等収益等の額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

運用報告書（全体版）

第1期

（決算日 2017年12月11日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ・マネーポートフォリオ（FOFs用）（適格機関投資家専用）」は、このたび、第1期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00~17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			公社債 組入比率	債券先 物率	純資 産額
	円	円	%			
1期末（2017年12月11日）	9,991	0	△0.1	—	—	百万円 0

（注1）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

（注2）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。

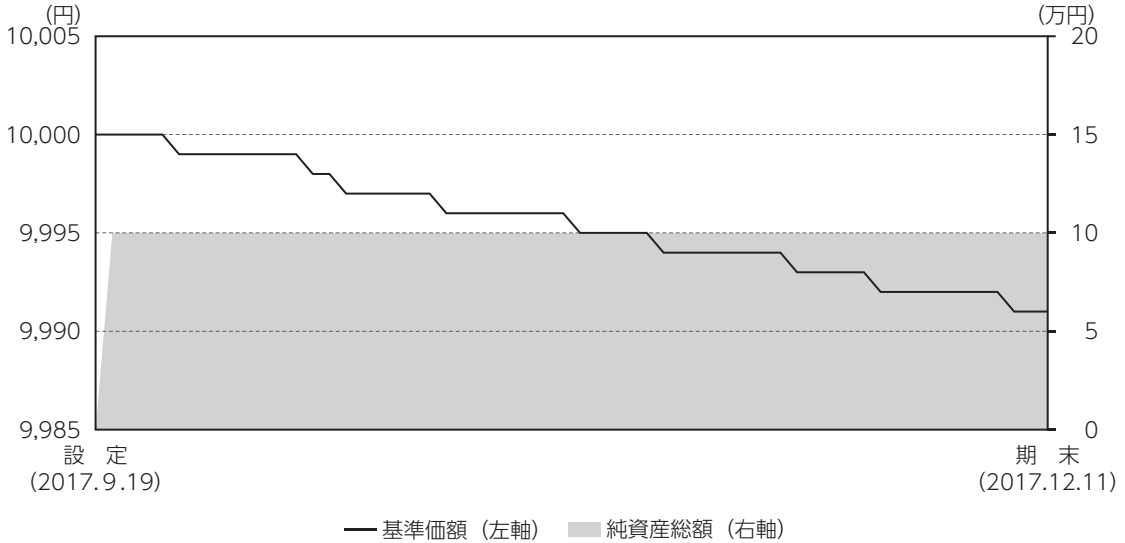
（注3）債券先物率は買建比率－売建比率です。

（注4）当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。



運用経過

基準価額等の推移について



■ 基準価額・騰落率

設定時：10,000円

期末：9,991円

騰落率：△0.1%

■ 基準価額の主な変動要因

「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券を通じて投資した短期の国債やコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したため、基準価額は下落しました。

ダイワ・マネーポートフォリオ（FOFs用）（適格機関投資家専用）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率	債 券 先 物 率
	騰 落 率	率		
(設定) 2017年 9月19日	円 10,000	% -	% -	% -
9 月末	9,999	△0.0	-	-
10月末	9,995	△0.1	-	-
11月末	9,992	△0.1	-	-
(期末) 2017年12月11日	9,991	△0.1	-	-

(注) 騰落率は設定比。

投資環境について

(2017.9.19~2017.12.11)

国内短期金融市況

日銀による「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が維持される中、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

ポートフォリオについて

(2017.9.19~2017.12.11)

当ファンド

「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行ないました。

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当期は、分配対象額が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2017年9月19日 ～2017年12月11日	
当期分配金（税込み）（円）		—
対基準価額比率（％）		—
当期の収益（円）		—
当期の収益以外（円）		—
翌期繰越分配対象額（円）		—

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行ないます。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行なう方針です。そのため、マイナス利回りの短期の国債やコール・ローン等にも投資します。

今後も現在の低金利環境が継続した場合は、ファンド全体の損益がマイナスとなり、基準価額が下落することが予想されます。投資家のみなさまにおかれましては、ご留意くださいますようお願い申し上げます。

1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2017.9.19~2017.12.11)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	—	—	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,995円です。
(投 信 会 社)	(—)	(—)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算等の対価
(販 売 会 社)	(—)	(—)	販売会社分は、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(—)	(—)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	8	0.083	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(8)	(0.083)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	8	0.083	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2017年9月19日から2017年12月11日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	69	70	-	-

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	当 期 末	
	口 数	評 価 額
	千口	千円
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	69	69

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	69	70.0
コール・ローン等、その他	30	30.0
投資信託財産総額	99	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	99,993円
コール・ローン等	30,000
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド(評価額)	69,993
(B) 負債	83
その他未払費用	83
(C) 純資産総額(A - B)	99,910
元本	100,000
次期繰越損益金	△ 90
(D) 受益権総口数	100,000口
1万口当り基準価額(C / D)	9,991円

* 設定時における元本額は100,000円、当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は0円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,991円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は90円です。

■損益の状況

当期 自2017年9月19日 至2017年12月11日

項 目	当 期
(A) 有価証券売買損益	△ 7円
売買損	△ 7
(B) 信託報酬等	△ 83
(C) 当期損益金(A + B)	△ 90
(D) 合計(C)	△ 90
次期繰越損益金(D)	△ 90
繰越損益金	△ 90

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	0
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	0
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	0
(h) 受益権総口数	100,000口

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

運用報告書 第9期（決算日 2017年12月11日）

（計算期間 2016年12月10日～2017年12月11日）

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの第9期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

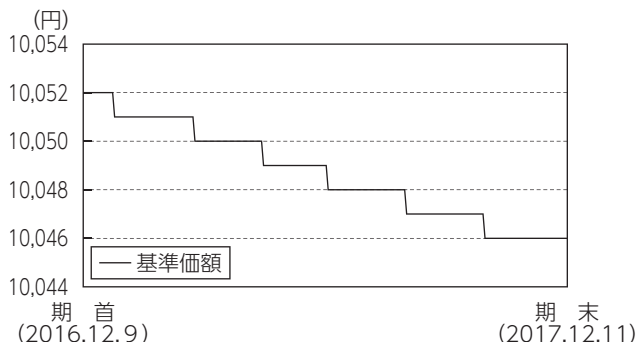
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基 準 価 額 円	騰 落 率		公 社 債 組 入 比 率 %
		騰 落 率 %	組 入 比 率 %	
(期首)2016年12月9日	10,052	-	-	28.1
12月末	10,052	0.0	-	-
2017年1月末	10,051	△0.0	-	31.1
2月末	10,051	△0.0	-	25.0
3月末	10,050	△0.0	-	-
4月末	10,049	△0.0	-	35.2
5月末	10,049	△0.0	-	5.5
6月末	10,048	△0.0	-	0.5
7月末	10,048	△0.0	-	0.1
8月末	10,047	△0.0	-	-
9月末	10,047	△0.0	-	-
10月末	10,046	△0.1	-	-
11月末	10,046	△0.1	-	-
(期末)2017年12月11日	10,046	△0.1	-	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,052円 期末：10,046円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

期首より、日銀は「長短金利操作付き量の・質的金融緩和」を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券(3カ月物)の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行いません。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行いません。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行いません。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

国 内	買 付 額 千円	売 付 額 千円

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
 (注2) ()内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

買 付		売 付	
銘	金 額 千円	銘	金 額 千円
645 国庫短期証券 2017/2/20	46,711,084		
657 国庫短期証券 2017/4/17	31,380,607		
659 国庫短期証券 2017/4/24	30,090,880		
669 国庫短期証券 2017/6/12	29,100,894		
652 国庫短期証券 2017/3/27	27,220,217		
642 国庫短期証券 2017/2/6	25,890,391		
644 国庫短期証券 2017/5/12	22,760,976		
651 国庫短期証券 2017/3/21	21,610,540		
660 国庫短期証券 2017/5/1	15,890,292		
638 国庫短期証券 2017/1/16	12,400,099		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

当期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	127,401,750	100.0
投資信託財産総額	127,401,750	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	127,401,750,032円
コール・ローン等	127,401,750,032
(B) 負債	—
(C) 純資産総額(A - B)	127,401,750,032
元本	126,824,072,530
次期繰越損益金	577,677,502
(D) 受益権総口数	126,824,072,530口
1万口当り基準価額(C / D)	10,046円

* 期首における元本額は103,766,716,434円、当期中における追加設定元本額は73,674,203,533円、同解約元本額は50,616,847,437円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米ドル・プルファンド（適格機関投資家専用）4,467,705,309円、ダイワ米ドル・ベアファンド（適格機関投資家専用）16,890,565,266円、ダイワ・マネーポートフォリオ（FOFs用）（適格機関投資家専用）69,673円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-07（為替ヘッジあり）995円、通貨選択型米国リート・αクワトロ（毎月分配型）159,141円、通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型）159,141円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-10（為替ヘッジあり）995円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-10（為替ヘッジあり）II 995円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-12（為替ヘッジあり）995円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-02（為替ヘッジあり/限定追加型）995円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-08（為替ヘッジあり/限定追加型）995円、日本株カムイA1戦略ファンド59,719,320円、ダイワJPX日経400ベア・ファンド（適格機関投資家専用）3,285,486,762円、ダイワユーロベア・ファンド（2倍、非リバランス型）（適格機関投資家専用）2,297,118,764円、ダイワ米ドルベア・ファンド（2倍、非リバランス型）（適格機関投資家専用）35,118,078,983円、ダイワ/ロジャーズ国際コモディティTM・ファンド9,393,201円、ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）日本円・コース（毎月分配型）998円、ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）998円、ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）アジア通貨・コース（毎月分配型）998円、ダイワTOP1Xベア・ファンド（適格機関投資家専用）64,694,720,539円、ダイワ豪ドル建て高利回り証券α（毎月分配型）9,949円、ダイワ米国国債7-10年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - U S トライアングル - 703,716円、ダイワ豪ドル建て高利回り証券ファンド - 予想分配金提示型 - 173,802円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,046円です。

■損益の状況

当期 自2016年12月10日 至2017年12月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 75,315,912円
受取利息	△ 9,781,131
支払利息	△ 65,534,781
(B) 有価証券売買損益	△ 15,183
売買損	△ 15,183
(C) その他費用	△ 889,297
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 76,220,392
(E) 前期繰越損益金	539,015,307
(F) 解約差損益金	△243,233,880
(G) 追加信託差損益金	358,116,467
(H) 合計(D + E + F + G)	577,677,502
次期繰越損益金(H)	577,677,502

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。